

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月10日

上場会社名 ジャニス工業株式会社 上場取引所名
 コード番号 5342 URL <http://www.janis-kogyo.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 山川芳範
 問合せ先責任者(役職名) 経営管理部長 (氏名) 富本和伸 TEL (0569) 35-3150
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|------|------|------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第2四半期 | 1,956 | △7.5 | 55 | △0.3 | 63 | 28.7 | 220 | 305.6 |
| 22年3月期第2四半期 | 2,114 | △2.4 | 55 | 58.5 | 49 | 72.9 | 54 | 257.3 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | |
|-------------|-----------------|----|----------------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 23年3月期第2四半期 | 11 | 80 | — | — |
| 22年3月期第2四半期 | 2 | 91 | — | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|-------|--|-------|--|--------|-----|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 | 銭 | |
| 23年3月期第2四半期 | 5,214 | | 2,133 | | 40.9 | 114 | 15 | |
| 22年3月期 | 5,174 | | 1,922 | | 37.2 | 102 | 89 | |

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 2,133百万円 22年3月期 1,922百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 |
| 22年3月期 | — | — | — | 0 00 | 0 00 |
| 23年3月期 | — | — | — | — | — |
| 23年3月期(予想) | — | — | — | 0 00 | 0 00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|-------|-----|------|------|------|------|-------|---|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 通期 | 4,300 | 0.0 | 100 | 48.9 | 100 | 62.1 | 250 | — | 13 | 38 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成22年11月10日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 有

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|-------------|--------|-------------|
| 23年3月期2Q | 19,167,715株 | 22年3月期 | 19,167,715株 |
|----------|-------------|--------|-------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|----------|--------|----------|
| 23年3月期2Q | 480,742株 | 22年3月期 | 480,365株 |
|----------|----------|--------|----------|

③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 23年3月期2Q | 18,687,070株 | 22年3月期2Q | 18,689,249株 |
|----------|-------------|----------|-------------|

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 4 |
| (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 4 |
| (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 4 |
| 3. 四半期財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期損益計算書 | 7 |
| 【第2四半期累計期間】 | 7 |
| 【第2四半期会計期間】 | 8 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 10 |
| (5) セグメント情報 | 10 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 10 |

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果や外需主導で景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、長期化する円高、慢性的なデフレや厳しい雇用環境など、先行き不透明感を払拭できない状況が続くものと思われまます。

当社関連業界におきましては、住宅ローン減税や住宅エコポイントの景気対策もあり、新設住宅着工戸数が前年比プラスに転じましたが、依然として低水準で推移しております。また景気の二番底懸念も増しており、今後も厳しい市場環境が続くものと思われまます。

こうした状況の中、フロントスリムトイレ「イーフィットクリンアルファ」「ココクリンアルファ」「バリュークリン」の拡販に注力してまいりました。また、新規取引先の獲得による工場稼働率の向上を進めてまいりました。コスト管理におきましては、全社横断のコスト削減活動「シェイプアップ77」を一層強化し、生産部門で製造原価低減をさらに推進し、営業・開発・管理部門も含めた全社一丸となり、収益率の向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は、1,956百万円と前年同四半期と比べ157百万円(7.5%)減少いたしました。利益面につきましては、営業利益は55百万円と前年同四半期とほぼ同じとなり、経常利益は63百万円と前年同四半期と比べ14百万円の増加、四半期純利益は220百万円と前年同四半期と比べ166百万円の増加となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前事業年末に比べて、93百万円増加して2,170百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加94百万円、繰延税金資産の増加215百万円と受取手形及び売掛金の減少163百万円、製品在庫の減少60百万円によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて、54百万円減少して3,043百万円となりました。これは主として有形固定資産の減少43百万円と、株価下落による投資有価証券の減少10百万円によるものであります。

この結果、総資産は前事業年末に比べて、39百万円増加して5,214百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて、58百万円減少して1,225百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少83百万円、短期借入金の減少50百万円と前受金の増加59百万円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて、112百万円減少して1,855百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少89百万円によるものであります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて、171百万円減少して3,080百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて、210百万円増加して2,133百万円となりました。これは主に四半期純利益を計上したことによるものであり、自己資本比率は40.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ94百万円増加し、504百万円となりました。

当第2四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、225百万円となりました。これは主として、売上債権の減少163百万円、減価償却費78百万円、たな卸資産の減少55百万円による資金の増加と、仕入債務の減少83百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の増加は、19百万円となりました。これは主として、有形固定資産の売却収入60百万円による資金の増加と、有形固定資産の取得40百万円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、150百万円となりました。これは主として、短期借入金と長期借入金の返済によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における業績と、最近の市場環境等を勘案し、平成22年5月12日付「平成22年3月期決算短信」にて発表いたしました平成23年3月期の通期業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日、別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

②たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(特有の会計処理)

法人税等の算定方法

当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。なお、これにより営業利益、経常利益はそれぞれ2,549千円減少しており、税引前四半期純利益は5,380千円減少しております。

②貯蔵品の評価方法の変更

貯蔵品の評価方法については、従来、最終仕入原価法によっておりましたが、当事業年度より先入先出法で処理するための管理体制が整備されたため、期間損益及び財政状態をより適正に表示するために、第1四半期会計期間より、先入先出法に変更しております。なお、この変更による損益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 504,193 | 409,219 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,003,604 | 1,167,444 |
| 製品 | 308,458 | 368,484 |
| 仕掛品 | 51,462 | 50,726 |
| 原材料及び貯蔵品 | 71,129 | 67,435 |
| 前渡金 | 2,759 | 1,425 |
| 前払費用 | 9,832 | 10,536 |
| 繰延税金資産 | 215,225 | — |
| その他 | 10,343 | 7,477 |
| 貸倒引当金 | △6,088 | △5,763 |
| 流動資産合計 | 2,170,920 | 2,076,986 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 383,642 | 360,324 |
| 構築物(純額) | 31,768 | 32,064 |
| 機械及び装置(純額) | 273,497 | 314,372 |
| 車両運搬具(純額) | 226 | 279 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 37,659 | 45,009 |
| 土地 | 2,023,901 | 2,049,728 |
| 建設仮勘定 | 14,724 | 6,897 |
| 有形固定資産合計 | 2,765,420 | 2,808,676 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 45,577 | 55,728 |
| 出資金 | 120 | 120 |
| 破産更生債権等 | 14,170 | 14,170 |
| 長期前払費用 | 1,365 | 1,592 |
| 差入保証金 | 38,488 | 38,718 |
| 投資不動産(純額) | 172,991 | 173,951 |
| その他 | 40,700 | 40,700 |
| 貸倒引当金 | △35,670 | △35,670 |
| 投資その他の資産合計 | 277,742 | 289,311 |
| 固定資産合計 | 3,043,163 | 3,097,987 |
| 資産合計 | 5,214,083 | 5,174,974 |

(単位：千円)

| | 当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 490,654 | 573,750 |
| 短期借入金 | 300,000 | 350,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 179,952 | 179,952 |
| 1年内償還予定の社債 | 20,000 | 20,000 |
| 未払金 | 37,178 | 32,138 |
| 未払費用 | 27,005 | 31,963 |
| 未払法人税等 | 6,861 | 10,420 |
| 未払消費税等 | 11,675 | 14,948 |
| 前受金 | 63,948 | 4,079 |
| 預り金 | 4,580 | 4,550 |
| 設備関係支払手形 | 27,342 | 9,003 |
| 賞与引当金 | 56,695 | 53,602 |
| その他 | 9 | 9 |
| 流動負債合計 | 1,225,902 | 1,284,417 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 60,000 | 70,000 |
| 長期借入金 | 659,646 | 749,622 |
| 繰延税金負債 | 3,548 | 1,455 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 665,054 | 675,354 |
| 退職給付引当金 | 257,845 | 267,952 |
| 資産除去債務 | 9,648 | — |
| 長期未払金 | 40,470 | 41,410 |
| 長期預り保証金 | 158,827 | 162,081 |
| 固定負債合計 | 1,855,041 | 1,967,875 |
| 負債合計 | 3,080,943 | 3,252,293 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 100,000 | 250,000 |
| その他資本剰余金 | 50,000 | 218,339 |
| 資本剰余金合計 | 150,000 | 468,339 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 43,795 | △510,595 |
| 利益剰余金合計 | 43,795 | △510,595 |
| 自己株式 | △34,803 | △34,778 |
| 株主資本合計 | 1,158,992 | 922,966 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 14,162 | 24,202 |
| 土地再評価差額金 | 959,985 | 975,512 |
| 評価・換算差額等合計 | 974,147 | 999,714 |
| 純資産合計 | 2,133,140 | 1,922,680 |
| 負債純資産合計 | 5,214,083 | 5,174,974 |

(2) 四半期損益計算書
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 2,114,167 | 1,956,628 |
| 売上原価 | 1,598,352 | 1,474,679 |
| 売上総利益 | 515,815 | 481,949 |
| 販売費及び一般管理費 | 459,873 | 426,178 |
| 営業利益 | 55,941 | 55,770 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 12 | 73 |
| 受取配当金 | 528 | 836 |
| 受取賃貸料 | 23,765 | 23,393 |
| 受取補償金 | 2,261 | — |
| 助成金収入 | — | 9,840 |
| その他 | 3,909 | 5,035 |
| 営業外収益合計 | 30,477 | 39,178 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 19,280 | 14,726 |
| 売上割引 | 6,596 | 7,423 |
| 租税公課 | 4,832 | — |
| その他 | 6,011 | 8,851 |
| 営業外費用合計 | 36,720 | 31,000 |
| 経常利益 | 49,698 | 63,948 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 100 | — |
| 役員退職慰労引当金戻入額 | 12,100 | — |
| その他 | 48 | — |
| 特別利益合計 | 12,248 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 4,027 | 335 |
| 減損損失 | — | 36,161 |
| 環境対策費 | — | 25,292 |
| その他 | — | 782 |
| 特別損失合計 | 4,027 | 62,571 |
| 税引前四半期純利益 | 57,919 | 1,376 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,547 | 3,547 |
| 法人税等調整額 | — | △222,694 |
| 法人税等合計 | 3,547 | △219,147 |
| 四半期純利益 | 54,372 | 220,524 |

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日) | 当第2四半期会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 1,086,719 | 1,094,828 |
| 売上原価 | 816,504 | 807,790 |
| 売上総利益 | 270,214 | 287,037 |
| 販売費及び一般管理費 | 234,301 | 214,172 |
| 営業利益 | 35,913 | 72,865 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3 | 73 |
| 受取配当金 | 21 | 48 |
| 受取賃貸料 | 11,862 | 11,497 |
| 受取補償金 | 1,417 | — |
| 助成金収入 | — | 9,840 |
| その他 | 3,676 | 791 |
| 営業外収益合計 | 16,982 | 22,251 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,603 | 7,221 |
| 売上割引 | 3,435 | 4,069 |
| 租税公課 | 2,416 | — |
| その他 | 4,186 | 4,434 |
| 営業外費用合計 | 19,640 | 15,725 |
| 経常利益 | 33,255 | 79,391 |
| 特別利益 | | |
| 償却債権取立益 | 25 | — |
| 特別利益合計 | 25 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 1,359 | 277 |
| 減損損失 | — | 36,161 |
| 環境対策費 | — | 1,272 |
| その他 | — | 782 |
| 特別損失合計 | 1,359 | 38,492 |
| 税引前四半期純利益 | 31,921 | 40,898 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,773 | 1,773 |
| 法人税等調整額 | — | △222,694 |
| 法人税等合計 | 1,773 | △220,920 |
| 四半期純利益 | 30,147 | 261,819 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 57,919 | 1,376 |
| 減価償却費 | 84,131 | 78,547 |
| 減損損失 | — | 36,161 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △440 | 324 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △36 | 3,093 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | △3,945 | △10,106 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | △60,661 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △540 | △909 |
| 受取賃貸料 | △23,765 | △23,393 |
| 支払利息 | 19,280 | 14,726 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 3,927 | 335 |
| 長期未払金の増減額 (△は減少) | 41,410 | △940 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 237,675 | 163,840 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 52,185 | 55,596 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △153,769 | △83,095 |
| その他 | 10,858 | △12,938 |
| 小計 | 264,227 | 222,618 |
| 利息及び配当金の受取額 | 540 | 838 |
| 賃貸料の受取額 | 23,765 | 23,268 |
| 利息の支払額 | △18,743 | △14,332 |
| 法人税等の支払額 | △7,067 | △7,059 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 262,723 | 225,331 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △63,278 | △40,032 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 60,000 |
| その他 | △2,384 | △324 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △65,662 | 19,642 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △170,000 | △50,000 |
| 長期借入れによる収入 | 100,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △100,486 | △89,976 |
| 社債の発行による収入 | 97,260 | — |
| 社債の償還による支出 | — | △10,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △129 | △24 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △73,355 | △150,000 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 123,705 | 94,974 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 343,617 | 409,219 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 467,322 | 504,193 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(追加情報)

第1四半期会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

当社の事業は、衛生機器の製造・販売の単一セグメントであり、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

当社は、平成22年6月25日開催の第76期定時株主総会決議に基づき、資本準備金をその他資本剰余金に振替後、その他資本剰余金を繰越利益剰余金の欠損填補に充当したため、当第2四半期累計期間において、資本準備金が150,000千円減少、その他資本剰余金が168,339千円減少し、繰越利益剰余金が318,339千円増加しております。